

1. 件 名：原子力事業者防災訓練の意見交換

2. 日 時：令和元年12月19日 13:30～16:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉調整官、蔦澤防災専門職、川原防災専門職

近畿大学原子力研究所

管理室長、その他1名

5. 要 旨

近畿大学原子力研究所が令和元年11月19日に実施した原子力事業者防災訓練に対する当庁気付き事項及び事業者抽出課題について原因と対策への意見交換を行った。

主なものとして、以下のような意見があった。

- ・ 事態収束に向けた戦略情報についてCOPシートが活用されなかった
- ・ 防災業務計画に記載誤りがある
- ・ F A X様式での警戒事態該当事象の表記が適切でない
- ・ プレス文に負傷者情報の記載が示されていない
- ・ E R C対応者にF A Xが送信前に配布されていない
- ・ 警戒事態該当事象に対する進展予測／応急対策の説明がなかった
- ・ F A X通報紙において、記載項目への記入漏れがあった、また昨年課題であった送信前のチェック体制が機能していなかった

原子力規制庁より、これら意見を踏まえ、課題事項に対する原因について深掘りするとともにその対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

6. その他

配布資料：

資料－1 訓練課題対応資料